

施策評価シート(平成31年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0101	政策名	農林業の振興	施策主管課	農村林務課	課長名	菊池 正彦
政策の目指す姿	農林業者が安定した所得を確保しています						
施策No	04	施策名	木材供給体制の構築	関係課名			
施策の目指す姿	地元産木材が建築物や燃料等に利用されています						
現状と課題							
<ul style="list-style-type: none"> ・素材生産から多様な木材利用の総合的取り組みを進める上で必要となる森林経営計画の策定が十分に進んでおらず、計画策定による様々なメリットが活用されていない状況です。 ・効率的で持続的な森林経営を実現するための再造林や間伐、林道の整備が十分ではない状況です。 ・森林・林業が見直されているなかで、市有林1,400ha について、将来を見据えた適正な保全管理と利活用により有益な資源の循環を図っていく必要があります。 ・木材の生産から流通供給までの体制づくりが求められています。 							

前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画の策定を促すためには、森林所有者に森林資源情報を把握解析し森林所有者や事業体に提供し、森林経営計画の策定を推進するとともに、支援制度を周知し、森林所有者の理解のもと計画的な森林施業を推進する。また、市有林の経営計画を策定したことから、民有林との共同計画を進める。 ・生産された素材を建築製材、合板製材、チップ材、燃料素材として供給するため、花巻市木材利用促進協議会を中心に県、市、森林組合、チップ製造、建築・設計士会、建設業などの関係機関団体と情報交換等を積極的に行うとともに、市中心部で進められているリノベーション事業との連携を含めた木材利用の促進に向け、関係者による勉強会や見学会に積極的に参画し、地域材の活用を推進する。
反映状況
<ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画の策定を進めるため、森林の航空レーザー計測及び森林資源解析を実施し、民有林の森林施業の集約化を図るとともに市有林の経営計画に民有林が共同計画を立てられる環境を整備した。 ・木材関係機関と意見交換や情報交換を行い、地域材活用方策の検討を進めた。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1)良質な木材生産の振興
<ul style="list-style-type: none"> 森林経営計画の策定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合等に対して策定の支援を行った。 皆伐後の再造林や作業道整備に重点支援 <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の再造林、下刈り、作業道整備に対して22%の高上げによる支援を行った。 企業等との連携による市有林の多様な利活用を検討 <ul style="list-style-type: none"> ・花巻市市有林経営ビジョンに基づき、多様な市有林の活用と計画的な森林整備を進めた。 基幹林道の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹林道漆山線が県代行により用地測量、補償物件調査等が実施された。
(2)木材有効活用の支援
<ul style="list-style-type: none"> バイオマス発電等への木材の安定供給体制の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス発電への木材の安定供給を図るため、関係機関による松くい虫被害木の受け入れに係る情報交換を行い有効活用された。 自伐型林業の推進と松くい虫被害木の資源活用 <ul style="list-style-type: none"> ・知識や技術を習得できる講座、フォーラムを開催したとともに、被害木加算や運搬経費に対して支援を行った。 木材産地としての加工流通の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・木材利用促進協議会を通じて関係者で情報交換や研修会を行った。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	数値区分	H28	H29	H30	H31	R02	R03
森林経営計画の策定面積	森林施業の効率化とコスト低減、安定した木材供給のために森林所有者が計画する策定面積を示す指標	出典：農村林務課 森林経営計画は市(市内分)と県(市を超える分)の認定となっている	ha	目標値		4,364.00	4,714.00	5,064.00		
				実績値		4,324.00	5,289.00	5,413.50		
素材生産量	製材として活用されるための素材の生産量を示す指標	出典：岩手県(素材生産量調査)	m3	目標値		55,620.00	57,288.00	59,006.00		
				実績値		62,630.00	28,866.00	22,575.00		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「森林経営計画の策定面積」・・・【達成度a】 市有林の経営計画が策定されたこと等により民有林の経営計画策定が促進されたことから、目標値を上回る実績となった。</p> <p>成果指標「素材生産量」・・・【達成度c】 ・目標値をかなり下回っているが、これは平成28、29年度に大規模な皆伐があり、一時的に生産量が増加したことを目標値に反映させたことにより目標値が過大となっているためであり、実績としては過去と比較してそれほど少なくない（H24～27平均27,780m³）。また、一方で未利用間伐材のバイオマス燃料への活用が進んでいる（素材搬入量：H30 248t H31 520t）。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> （森林経営支援事業）民有林における森林経営計画作成を支援し、民間活力による市内木材生産量の増加を目指す。
新たに取り組むべき事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> （森林整備事業）森林所有者や林業経営体に対する市や関係団体における森林整備に関する各種支援策の情報提供や各種団体との情報交換を推進する必要がある。

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> 森林資源解析情報の提供等行い素材生産から多様な木材利用の総合的取り組みを進める上で必要となる民有林の経営計画の作成をさらに推進する必要がある。 地域内での森林資源の循環利用、木材の生産から流通、供給までの体制を発展させるため情報共有等関係者間の連携強化が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 森林所有者の林業に対する意識を高めるため、令和元年度から実施している森林の航空レーザー計測及び森林資源解析の情報を森林所有者、林業経営体に提供し森林経営計画作成を進めるとともに、計画的な森林整備の推進や森林経営の集約化を図っていく。 市内の木材生産量を確保し建築製材、合板製材、チップ材、燃料素材として安定的に供給するため、計画的に造林、除間伐等森林施策を実施するとともに関係団体等との情報交換等を積極的に行っていく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	森林資源活用事業費	農村林務	一致	直結	B
	露地栽培の原木しいたけの生産再開に向けて、ほだ木購入費を支援(原木しいたけほだ木の購入13,150本) 木材の有効活用とバイオマス発電の燃料の安定供給のため運搬費、作業道開設に支援(素材搬入受付日数24日)				
020	森林整備事業費	農村林務	一致	直結	C
	森林整備を進めるため、市有林の整備や民有林の森林整備を支援 (市有林保育作業 64ha、民有林施業 227ha)				
030	森林経営支援事業費	農村林務	一致	直結	A
	持続的な林業経営が行われるよう森林経営計画の作成を支援 (森林経営計画作成6件、レーザー計測4,000ha、森林解析1,500ha)				